

1月10日

# 国の補正予算（約14兆円）のうち、緊急性のない防衛費・半導体企業支援予算を削って、国民の暮らしを支える分野に厚く予算配分を！

## 要望項目

昨年末、国の補正予算に「重点支援地方交付金」が経済対策として盛り込まれました。  
日本共産党奥州市議団は、1月10日、倉成淳市長に、改めて「交付金」を活用し長引く物価高騰から住民のくらしと生業を守るための支援策について10項目、また、国に対して5項目について要請することを求めました。

①雇用と営業を守るため「重点支援地方交付金」を活用し独自財源も入れ補正予算の迅速な編成、②中小事業者に家賃、リース料などの固定費補助や水道料金補助、賃上げ支援を実施すること、③畜産農家等への飼料・肥料、光熱費



の支援、④医療機関、高齢者施設、保育所、福祉事業所など公定価格で運営している事業所への水道光熱費・燃料費、食材費の支援、⑤放課後児童クラブ、幼稚園、市民利用施設、子ども食堂、私立学校への水道光熱費等の補助、⑥小中学校の給食費の引き上げを行わないこと、⑦市奨学金の支給額と募集枠の拡大、⑧一般家庭の水道光熱費の減免支援、⑨物価高騰支援給付金事業をひとり親世帯や低所得世帯に拡大すること、⑩子育て世代へのおむつ等育児用品の購入支援を行うこと

## 国への要請

①「重点支援地方交付金」の増額、②消費税の緊急減税、③大学教授料の値上げ中止、無償化、④低すぎる公定価格への財政支援、⑤ガソリン代助成を国に働きかけること

## 12月議会報告

### 「物価高騰対策地方臨時交付金（重点支援地方交付金）」を活用し、市内事業者の支援を

令和6年度12月議会が11月29日～12月19日まで開催されました。日本共産党市議団の一般質問の概要を紹介します。

千葉敦議員は、奥州市内事業者を対象とした7月から9月の景気動向調査の結果は、4月から6月の同調査と比べ若干の改善が見られるが、「景気回復にはまだまだほど遠い状況」だと、

## 市単独での実施はむずかしい

倉成淳市長は、国の交付金の活用を前提とした事業については、市が単独で実施することや上乗せ支援することは、財源的にも難しいとし、①厚生労働省やハローワークが実施しているキャリアアップ助成金等の制度を紹介するなどして、中小企業の賃上げにつなげていきたい。  
②具体的財源がなければ単独での実施は難しい。今後も国等の動向を注視しながら適切なタイミングで効果的な支援を検討すると答えました。

## 不登校児童への対応が充分にできていないのでは？



佐藤美雪議員  
は、いじめ、不登校件数が全国で過去最多となり、奥州市におい

ても年々増加している状況を取り上げ、市のいじめ不登校対策について、県から派遣されているスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置状況では、充分に対応できていないのではないかと指摘。市独自の取り組みを検討すべきだ、と質しました。

## 市独自の配置は難しい

教育委員会は、いじめ不登校対策として児童生徒の居場所づくりや登校しやすい環境を整えること、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーによる相談、支援体制をとっている。また、不登校児童生徒の受け皿としてフロンティア奥州、同江刺の2カ所を設置。50名ほどが利用登録しており、昨年同時期と比べ、倍化していることを明らかにしました。

スクールカウンセラーは市内小中学校に7名、スクールソーシャルワーカーは中学校5校に1名を

## 学校のトイレの洋式化を急ぐべきでないか？

佐藤美雪議員は、児童生徒が安心して学習できる環境の基となる、トイレの洋式化を急ぐべきだとして質しました。

## 関係部局と協議したい

教育委員会は、トイレの洋式化の計画として、令和8年度末の60%を目標とし、令和6年度で46・4%と設定。本年度末で約58%を見込んでいる状況であるが、少しでも多く洋式化を進められるよう、関係部局と協議していく、と述べました。

## 国の重点支援地方交付金を活用すべき

千葉敦議員は、財源問題について、政府が経済対策として、物価高騰対策地方臨時交付金（重点支援地方交付金）を補正予算に計上する検討をしており、この交付金を活用して、賃上げ支援、物価高騰対策支援等を早急に検討すべきでないかと重ねて質しました。

担当者は、新たな交付金として重点支援地方交付金が予定されているが、詳細について確認しているところで、交付金の趣旨に合致した内容の支援策を検討していきたいと答えました。

## 日本共産党奥州市議団



佐藤美雪議員 瀬川貞清議員 千葉敦議員 菅原明議員 今野裕文議員

# 市政報告

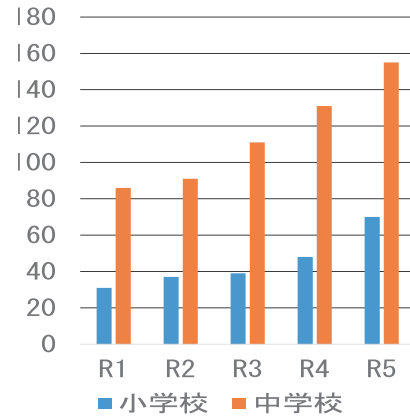
2025年1月2月号  
奥州市議会日本共産党議員団  
《連絡先》  
奥州市役所日本共産党議員団控室  
水沢大手町1-1 ☎24-2111  
日本共産党奥州市委員会  
水沢大手町三丁目5-9  
☎24-2021 fax24-2049

## 誰でも利用できる

## トイレ整備を！

佐藤美雪議員は、「便座が冷たくて冬は使用できない」、築50年の学校では「臭気が廊下や教室に広がる」という子どもたちの声を聞き上げ、対策を求め、インクルーシブ教育や災害避難所の観点からも多目的トイレなど、誰でも利用できるトイレの設置を検討すべきだと提案しました。

不登校児童・生徒数



奥州市教育委員会より

## 未配置の学校でも相談できるようにすべき

佐藤美雪議員は、スクールカウンセラーが未配置の小学校で、相談できる体制についての周知がないため、いざ、相談したい時にどうしたらいいのかわからないという状況がある。児童生徒、親に寄り添い、いじめ、不登校の重大事態に陥る前に早期の相談、対応ができるようにすべきだと提案しました。

配置して対応しているが、未配置の学校もあるため、相談の希望に充分対応できていない。市独自では財政面でなかなか難しいが、「引き続き県に対して要望をしていきたい」と述べるにとどまりました。